

17:31 <NQN>◇香港株大引け 小反落、中国景気の回復期待で下げ渋る
NWH9357

【NQN香港＝瀬崎真知子】19日の香港株式相場は小幅に反落した。ハンセン指数の終値は前日比27.02ポイント（0.12%）安の2万1650.98だった。米景気の減速懸念から前日の米株式相場が下落した流れを引き継ぎ、売りが先行した。春節（旧正月）の大型連休を控えて投資家の様子見姿勢は強く、持ち高調整の売りでやや下げ幅を拡大する場面もあった。

中国景気への回復期待は根強く、朝安後は押し目買いが入って指数は一時上げに転じた。香港政府の李家超（ジョン・リー）行政長官が19日午前、新型コロナウイルスの感染者に義務付けていた隔離措置を1月30日から撤廃する方針を表明したことも、相場を下支えした。

中国ネット大手の一角が下落。同社の会長らが保有株の一部を売却したと伝わったショート動画の快手科技（クアイショウ）は6%安で終えた。中国の空運や新興電気自動車（EV）株も売られた。

半面、碧桂園控股など中国の不動産関連株が軒並み高い。オンライン個別指導の新東方在線科技控股をはじめ中国の教育株も買われた。香港の小売り関連も堅調だった。

香港上場のハイテク関連銘柄で構成する「ハンセンテック指数」は1.65%安で終えた。

香港メインボードの売買代金は925億香港ドルだった。

香港の運用会社、大唐資本のローザ・リー最高投資責任者（CIO）は、今後について「2月から徐々に中国景気回復が見え始め、第2四半期に回復ペースが加速し中国経済や香港株式市場にも反映される」と指摘。ハンセン指数は「年央までに2万3000に達する可能性がある」との見方を示した。

春節の大型連休を控え、中国本土との証券相互取引を通じた本土投資家による香港株売買はきょうから休止となった。再開は30日。